

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 18 日(2022.8.18)

【公開番号】特開 2020-174758(P2020-174758A)

【公開日】令和 2 年 10 月 29 日(2020.10.29)

【年通号数】公開・登録公報 2020-044

【出願番号】特願 2019-77461(P2019-77461)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 9 日(2022.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

少なくとも前記有利状態に制御されることを示唆する有利態様と前記有利状態に制御されないことを示唆する不利態様とを含む複数種類の演出態様で所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

前記所定演出が前記不利態様にて実行された後に、前記所定演出よりも前記有利状態に制御される割合が高い特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記特定演出の実行前に、該特定演出の実行を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

30

前記特定演出実行手段は、

少なくとも第 1 特定演出と該第 1 特定演出よりも遊技者にとって有利度の高い第 2 特定演出とを含む複数種類の前記特定演出を実行可能であり、

前記有利状態に制御されることを示唆する有利特定態様と前記有利状態に制御されないことを示唆する不利特定態様とを含む複数種類の演出態様で前記第 1 特定演出を実行可能であり、

前記示唆演出実行手段は、

少なくとも前記第 1 特定演出の実行を示唆する第 1 示唆演出と前記第 2 特定演出の実行を示唆する第 2 示唆演出とを含む複数種類の前記示唆演出を実行可能であり、

40

前記所定演出が前記不利態様で実行された後に前記第 1 示唆演出を実行可能であり、

前記第 1 示唆演出の実行後に前記第 1 特定演出が実行されない場合に、該第 1 示唆演出が実行された後に前記第 2 示唆演出を実行可能であり、

前記第 1 示唆演出の実行後に前記第 1 特定演出が前記不利特定態様にて実行された場合、前記第 2 示唆演出を実行可能であり、

前記第 2 示唆演出よりも短い演出期間で前記第 1 示唆演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

(手段 A) 本発明による遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、少なくとも前記有利状態に制御されることを示唆する有利態様と前記有利状態に制御されないことを示唆する不利態様とを含む複数種類の演出態様で所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、前記所定演出が前記不利態様にて実行された後に、前記所定演出よりも前記有利状態に制御される割合が高い特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記特定演出の実行前に、該特定演出の実行を示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、前記特定演出実行手段は、少なくとも第 1 特定演出と該第 1 特定演出よりも遊技者にとって有利度の高い第 2 特定演出とを含む複数種類の前記特定演出を実行可能であり、前記有利状態に制御されることを示唆する有利特定態様と前記有利状態に制御されないことを示唆する不利特定態様とを含む複数種類の演出態様で前記第 1 特定演出を実行可能であり、前記示唆演出実行手段は、少なくとも前記第 1 特定演出の実行を示唆する第 1 示唆演出と前記第 2 特定演出の実行を示唆する第 2 示唆演出とを含む複数種類の前記示唆演出を実行可能であり、前記所定演出が前記不利態様で実行された後に前記第 1 示唆演出を実行可能であり、前記第 1 示唆演出の実行後に前記第 1 特定演出が実行されない場合に、該第 1 示唆演出が実行された後に前記第 2 示唆演出を実行可能であり、前記第 1 示唆演出の実行後に前記第 1 特定演出が前記不利特定態様にて実行された場合、前記第 2 示唆演出を実行可能であり、前記第 2 示唆演出よりも短い演出期間で前記第 1 示唆演出を実行可能であることを特徴とする。

(手段 1) 他の遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、少なくとも有利状態に制御されることを示唆する有利態様（例えば、大当たり図柄を仮停止する態様）と有利状態に制御されないことを示唆する不利態様（例えば、はずれ図柄を仮停止する態様）とを含む複数種類の演出態様で所定演出（例えば、スーパーリーチ（スーパーリーチ A, B を含む））を実行可能な所定演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 017 IWS 214 およびステップ S 172 を実行する部分）と、所定演出が不利態様にて実行された後に、所定演出よりも有利状態に制御される割合が高い特定演出（例えば、第 1 発展演出、第 2 発展演出）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 017 IWS 214 およびステップ S 172 を実行する部分）と、特定演出の実行前に、該特定演出の実行を示唆する示唆演出（例えば、第 1 示唆演出、第 2 示唆演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 017 IWS 214 およびステップ S 172 を実行する部分）とを備え、特定演出実行手段は、少なくとも第 1 特定演出（例えば、第 1 発展演出）と該第 1 特定演出よりも遊技者にとって有利度の高い第 2 特定演出（例えば、第 2 発展演出）とを含む複数種類の特定演出を実行可能であり、示唆演出実行手段は、少なくとも第 1 特定演出の実行を示唆する第 1 示唆演出（例えば、第 1 示唆演出）と第 2 特定演出の実行を示唆する第 2 示唆演出（例えば、第 2 示唆演出）とを含む複数種類の示唆演出を実行可能であり、所定演出が不利態様で実行された後に第 1 示唆演出を実行可能であり、第 1 示唆演出の実行後に第 1 特定演出が実行されない場合（例えば、第 1 示唆演出の失敗パターンが実行される場合）に、当該第 1 示唆演出が実行された後に第 2 示唆演出を実行可能である（例えば、Pt 17, Pt 18, Pt 24 に対応する演出を実行可能である。図 8 - 3 参照）ことを特徴とする。そのような構成によれば、遊技の興趣の低下を防止することができる。

10

20

30

40

50